

副助詞ダケの相応の用法

2004 (平成 16) 年入学
言語学・応用言語学専攻
1LT04012S 井口 美咲

2008 (平成 20) 年 1 月提出

< 目 次 >

1. はじめに	1
2. だけあって	1
2.1. ダケの容認	1
2.2. ダケの前後関係	4
2.2.1. 入れ替え可・不可の比較	4
2.2.2. 入れ替えた際の意味の比較	5
2.3. だけある	6
3. 「だけに」と「だけあって」	6
3.1. 先行研究との比較	7
3.1.1. 先行研究	7
3.1.2. 「だけに」の例外	8
3.2. 時制による差	9
4. 結論	10
参考文献	10

1. はじめに

副助詞ダケには、限定・限度・程度を表す用法のほか、「だけに」「だけあって」といった形で「相応の意味」を表す用法がある。この二つは使い分けが定まっておらず、曖昧である。本論文では、相応のダケがどのような用法の際に容認されるのかを考察し、また、「だけに」と「だけあって」の用例を比較することを通して二者の使い分けの一般化をめざす。

2. だけあって

相応のダケが「だけあって」という形で使われる例について考察する。

2.1. ダケの容認

相応のダケが容認されるのはどのような用法のときか考えてみる。

- (1) a. 高いホテルだけあって豪華だ。
b. *高いホテルだけあって質素だ。

(1a)と(1b)の容認度の差は、単語の持つ意味によるものと考えられる。『X だけあって Y』と表したとき、X と Y は相応する関係でなければならない。前後に文脈のない状態で(1)を見たときに、X「高いホテル」に相応しないと考えられる Y「質素だ」が容認されないのはこのためである。一方、Y「豪華だ」は単独でも X「高いホテル」と相応する意味合いを持つので、容認される。ここで、X を「安いホテル」に替えると「高いホテル」の場合とは反対に、相応関係のない(2a)は容認されず、(2b)が容認される。

- (2) a. *安いホテルだけあって豪華だ。
b. 安いホテルだけあって質素だ。

また、Y を「シンプルだ」に替えると以下ようになる。

- (3) a. ??高いホテルだけあってシンプルだ。
b. 安いホテルだけあってシンプルだ。

(3a)の容認度が下がるのは、X「高いホテル」とY「シンプルだ」の相応関係が弱いからであると考えられる。このような場合、(4)のように相応関係を補強できるような文脈を加えると容認度が上がる。

- (4) a. 高いホテルだけあってシンプルだ。余計な物はなく全体に洗練された雰囲気がある。
b. 安いホテルだけあってシンプルだ。必要最低限のものしかない。

また、次の例が示すように、ダケの前が名詞のみであると容認しにくい。

- (5) a. *金魚だけあって賢い。
b. **訓練された**金魚だけあって賢い。
(6) a. ??犬だけあって賢い。
b. **盲導犬**だけあって賢い。

(5a)のように「金魚」単独では、Y「賢い」に相応するとは考えにくく、容認度は低いが、(5b)のように「訓練された」を加えることによって、前述の例と同じく相応関係が補強され容認度は高まる。また、犬になると一般的に賢いと思われるため、(6a)では(5a)よりもやや容認度が上がり、(6b)のように盲導犬となるとさらに自然になる。

- (7) a. ??米だけあっておいしい。
b. **ブランド**米だけあっておいしい。
c. ***ブレンド**米だけあっておいしい。
(8) a. キャビアだけあっておいしい。
b. **最高級の**キャビアだけあっておいしい。
c. ***B 級品の**キャビアだけあっておいしい。

(7),(8)についても同様だが、(8a)のようにそのまま容認されるものも、(8b)のように「最高級の」を加えるとより自然な文となる。また、(6b),(7b)のようにダケの前が名詞だけで自然な文になるものも、その名詞自体が複合語であるからである(盲導犬:盲導犬として訓練された犬、ブランド米:ブランド銘のある米)。さらに(7c)(8c)のように付す語によってはかえって容認度を下げってしまうものもある。

以上のことから、ダケの前の形容詞や形容動詞、状態動詞といったものが文の容認度に大きな影響を与えていることが分かる。

- (9) a. 高いホテルだけあって、豪華だ。
b. 高いホテルだけあって、それなりに豪華だ。

- c. 高いホテルだけあって、たいそう豪華だ。
- d. ??どちらかという高いホテルだけあって、豪華だ。
- e. どちらかという高いホテルだけあって、それなりに豪華だ。
- f. *どちらかという高いホテルだけあって、たいそう豪華だ。
- g. 非常に高いホテルだけあって、豪華だ。
- h. *非常に高いホテルだけあって、それなりに豪華だ。
- i. 非常に高いホテルだけあって、たいそう豪華だ。

(9d)はY「豪華だ」が単独でも並ではないことを表すため、X「どちらかという高い」では相応関係が弱まり、容認度が下がる。そして、(9f),(9h)も副詞が付されることでXとYの相応関係が崩れ、容認されなくなる。よって、程度を表す副詞や副詞句も文の容認に大きく関係している。

では、それらはどのように関わっているのだろうか。

- (10) a. ??騒いでいただけあって、怒られてしまった。
 b. ??騒いでいただけあって、少々怒られてしまった。
 c. ??騒いでいただけあって、こっぴどく怒られてしまった。
 d. ??やや騒いでいただけあって、怒られてしまった。
 e. やや騒いでいただけあって、少々怒られてしまった。
 f. *やや騒いでいただけあって、こっぴどく怒られてしまった。
 g. ??ひどく騒いでいただけあって、怒られてしまった。
 h. *ひどく騒いでいただけあって、少々怒られてしまった。
 i. ひどく騒いでいただけあって、こっぴどく怒られてしまった。

(10)から、「やや」と「少々」、「ひどく」と「こっぴどく」のように程度を表す副詞がつりあうものが容認され、その相応関係の強さと容認度が比例していることが分かる。よって、単語の持つ程度に関わる意が、その文の容認の可否を決める鍵となる。

また、動詞の場合は行為Xに相応の結果が、Yにこななければならない。よって、XY間に相応関係のない(11b),(12b)は容認されない。

- (11) a. 猛勉強しただけあって、めでたく第一志望校に受かった。
 b. *猛勉強しただけあって、もの見事にすべて落ちてしまった。
- (12) a. まったく勉強しなかっただけあって、もの見事にすべて落ちてしまった。
 b. *まったく勉強しなかっただけあって、めでたく第一志望校に受かった。

ただし、話題となる人物(ここでは受験した者)が「勉強すればするほど試験で失敗し、まったく勉強しないほうがうまくいく」などという特殊な状況下であれば、(11b),(12b)は容認され、逆に(11a),(12b)が容認されないということになる。

2.2. ダケの前後関係

相応のダケを用いた文には、ダケの前後を入れ替えても成立するものとそうでないものがある。つまり、『XだけあってY』『YだけあってX』のどちらも文として成り立つ場合と成り立たない場合がある。入れ替え可能なものと不可能なものの比較、及び、入れ替えた際の意味の違いを考察する。

2.2.1. 入れ替え可・不可の比較

以下の(13)-(15)の例では、(a)はダケの前後で入れ替え可能だが(b)、(c)は入れ替えが不可能である(d)。

- (13) a. お金持ちだけあって高級車を何台も持っている。
 b. 高級車を何台も持っているだけあってお金持ちだ。
 c. 資産家だけあって高級車を何台も持っている。
 d. *高級車を何台も持っているだけあって資産家だ。
- (14) a. スカウトされたこともあるだけあって、彼女は必ず抜けてかわいい。
 b. 彼女は必ず抜けてかわいいだけあって、スカウトされたこともある。
 c. トップモデルの血を引いているだけあって、彼女は必ず抜けてかわいい。
 d. *彼女は必ず抜けてかわいいだけあって、トップモデルの血を引いている。
- (15) a. 東国原知事は有名なだけあって、テレビにも度々登場する。
 b. テレビにも度々登場するだけあって、東国原知事は有名なだ。
 c. 東国原知事は有名なだけあって、街を歩けばすぐに囲まれる。
 d. *街を歩けばすぐに囲まれるだけあって、東国原知事は有名なだ。

上記の(13)-(15)の用例ではXとYには相応の因果関係が見られる。前後を入れ替えることで、相応関係は残っても因果関係が一般的にあるとは言えなくなると、容認されなくなる。

2.2.2. 入れ替えた際の意味の比較

上記の入れ替え可能な文の意味が、入れ替えによってどのように異なるのかを見ていく。

(16)

状況		A	B
ある人 [お金持ち] + [高級車を何台も 持っている] がいる	用例	お金持ちだけあって <u>高級車</u> を何台も持っている。	高級車を何台も持っている だけあって <u>お金持ち</u> だ。
	心理	お金持ちなら、高級車を持 っていて当然。かつ、破線 部を強調。	高級車を持っている人な ら、お金持ちで当然。かつ、 破線部を強調。
女性 [ずば抜けてかわいい] + [スカウトされた ことがある] がいる	用例	彼女は <u>ずば抜けて</u> かわい いだけあって、 <u>スカウトされ</u> <u>たこともある</u> 。	スカウトされたこともある だけあって、 <u>彼女はずば抜</u> <u>けて</u> かわいい。
	心理	ずば抜けてかわいい人な ら、スカウトされて当然。 かつ、破線部を強調。	スカウトされる人なら、ず ば抜けてかわいくて当然。 かつ、破線部を強調。
ある事実 [東国原知事は有名] + [テレビにも度々 登場する] がある	用例	東国原知事は有名だけあ って、 <u>テレビにも度々登場</u> <u>する</u> 。	テレビにも度々登場するだ けあって、 <u>東国原知事は有</u> <u>名だ</u> 。
	心理	有名な人なら、テレビに 度々登場して当然。かつ、 破線部を強調。	テレビに度々登場する人な ら、有名で当然。かつ、破 線部を強調。

いずれも A と B の指す状況は同じである。しかし、発話の背景にある心理（前提）、強調する点が異なっている。

話し手は、なんとなく Y と感じているのではなく、確かな根拠があるということわざ X で示している。ここから Y を強調しようとする意図がうかがえる。Y に強い感嘆の気持ちを持っているということを聞き手に納得、共感してもらうために X を述べている。そして、聞き手に説得力のある根拠にするため、X には一般常識や客観的な事実が多くなる。寺村(1991:172)では X に「聞き手にとって既知の事実をもってき」とあるが、これまでの例から、既知の事実でなくとも一般的、客観的事実であれば容認されることを示せた。

2.3. だけある

「だけあって」の言い切りの形「だけある」もしばしば用いられる。

- (17) a. この歌は人気だけある。
b. いい作品だ。これは賞をとるだけあるよ。
c. この店は評判が悪いだけある。
d. 今日も遅刻か。彼は遅刻魔だけあるね。

『P は Q だけある』としたとき、P は Q の価値または反価値があるということを表している。良い意味でも悪い意味でも感心している点は、『X だけあって Y』形と同じである。しかし、話し手が最も強調したいのは、Q ではなく言外の部分である。つまり、『P は Q だけある』を『X だけあって Y』と言い換えたときに Y にくる部分を、やはりこの文型でも強調しているのである。よって、(17)で強調したいのは(18)で示したところである。

- (18) a. この歌は人気だけあって素晴らしい。
b. これは賞をとるだけあっていい作品だ。
c. この店は評判が悪いだけあって接客がなってない。
d. 彼は遅刻魔だけあって今日も遅刻だ。

次に、「だけある」の他の活用を見ていく。

- (19) a. 話題になるだけある。
b. ??話題になるだけあった。
c. ??話題になるだけあろう。
d. *話題になるだけあれ。(命令)
e. *話題になるだけない。

(19b),(19c)は容認度が低く、また、(19d),(19e)は容認されないことから、「だけある」というのはその形で慣用的に使われるものだと考えられる。

3. 「だけに」と「だけあって」

一見、同じように使われているように感じられる「だけに」と「だけあって」の意味及び用法の違いを考察する。

3.1. 先行研究との比較

3.1.1. 先行研究

『X だけに / あって Y』は泉原(2007:666-667)によると、「だけに」は Y がプラス評価、マイナス評価に関わりなく使われ、「だけあって」は Y がプラス評価のときにのみ使われると一般化される。

- (20) a. X だけに Y (= プラス / マイナス)
b. X だけあって Y (= プラスのみ)

ただし、「皮肉 / 風刺 / 冗談」まじりに使うのであれば、Y がマイナス評価の際にも「だけあって」が使えるとしている。また、Y がプラス評価の場合、話し手の気持ちに両者の違いがあり、それは次のように述べられている。

- (21) a. X だけに Y (= プラス)
X なのだから Y は当然の成り行きであるといった消極的な評価
b. X だけあって Y (= プラス)
目の前の状況に対し積極的に拍手を送っているかのような熱烈な評価

たしかに、(22)にはこの一般化が当てはまるようだ。

- (22) a. 全力で走っただけに間に合った。……………(20a),(21a)
b. 全力で走っただけあって間に合った。……………(20b),(21b)
c. 全力で走っただけに転んでしまった。……………(20a)
d. *全力で走っただけあって転んでしまった。…(20b)

ただし、(22d)は皮肉や冗談なら可能。

また、Y がマイナス評価のときに「だけに」が選択されることを次の例で示せる¹。

- (23) a. 時期が時期だけに品質はお約束できませんよ。
b. 場所が場所だけにタクシーなんて呼ばなきゃ来ないさ。

(23)のような「N が N だけに ~」の文型は「だけあって」に置き換えることはできない上に、常に Y はマイナス評価である。

¹ (23a,b)は井口による作例である。

3.1.2. 「だけに」の例外

ここでは先行研究の一般化に当てはまらないものについて、考察する。

- (24) a. うちの猫は真年生まれだけあってトラっていうんです。
b. ??うちの猫は真年生まれだけあってトラっていうんです。安直でしょう。
c. うちの猫は真年生まれだけあってトラっていうんです。いい名前でしょう。
- (25) a. うちの猫は真年生まれだけにトラっていうんです。
b. うちの猫は真年生まれだけにトラっていうんです。安直でしょう。
c. うちの猫は真年生まれだけにトラっていうんです。いい名前でしょう。

(24)は先行研究の見解通りである一方、(25c)は Y が積極的な評価であるといえるのに容認され、(21)に反している。また、(26)では Y が積極的な評価であるにも関わらず、(26b)の方がかえって容認度が低い。

- (26) a. 「安心です」だけにアンデスメロンなんて、とてもユニークだ。
b. ??「安心です」だけあってアンデスメロンなんて、とてもユニークだ。

これは、ダケが「X をもじって Y」という意味で使われる際には、慣用的に「だけに」が使われるからではないだろうか。その根拠として(27)を挙げる。

- (27) a. お土産は「おたべ」だけにもう食べちゃったよ。なんてね。
b. 「アイススケートは氷上だけに冷や冷やしてしまう」なんて、うまいこと言うね。

こういった、いわゆる駄洒落は「だけあって」でも容認できそうだが、普通「だけに」を用いる。よって、(24)-(27)のような文では Y が積極的な評価かどうかとは関係なく「だけに」の容認度が高いのだと言える。

(21)の一般化では説明できない用法がこのタイプだけならば、「だけに」の例外とも考えられるが、この他にもある。

- (28) a. 期待していなかっただけに、採用通知が届いたときはとても嬉しかった。
b. *期待していただけに、採用通知が届いたときはとても嬉しかった。

- (29) a. *期待していなかっただけあって、採用通知が届いたときはとても嬉しかった。

- b. 期待していただけあって、採用通知が届いたときはとても嬉しかった。

(28),(29)は「だけに」と「だけあって」でYは同じであるのに、容認されるXの意味が真逆である。そこで、行為Xに相応の結果がYにくるといったダケの性質に加え、「だけに」について以下のことが言える。

- (30) 「だけに」は「Xなので、よりいっそうY」という意を表す。

そして、「だけに」は(30)の意味で以下のような用例もある。しかし、「だけあって」は同じようには使えない。それはなぜか考察する。

- (31) a. 有名なホテルだけに一度は泊まってみたい。
b. ??有名なホテルだけあって一度は泊まってみたい。
c. 有名なホテルだけあって快適に過ごせそうだから、一度は泊まってみたい。
d. 有名なホテルだけある。→快適、値段が高い、客が多いなど(言外のY)
- (32) a. 名家主催のパーティーだけに、庶民の僕なんか浮いてしまいそうだ。
b. ??名家主催のパーティーだけあって、庶民の僕なんか浮いてしまいそうだ。
c. 名家主催のパーティーだけあって、みな礼装が板についていて、庶民の僕なんか浮いてしまいそうだ。
d. 名家主催のパーティーだけある。→豪勢だ、客層が普通でないなど(言外のY)

(31),(32)を見て分かるように、「だけに」の場合と同じことを言うためには、やはりYに「快適に過ごせそう」、「みな礼装が板についていて」のようなXに見合う状態、評価というものが必要になる。それは、「だけあって」の言い切りの形「だけある」が最も強調するところの、言外のYを必要とするからである。

3.2. 時制による差

ダケの直前に動詞がくる場合、それが「～る」か「～た」かで解釈が変わってくるが、「だけに」と「だけあって」ではその解釈の仕方に差がある。

- (33) a. 表彰されるだけに、挨拶を準備しておいた方がいいかもしれない。
b. 表彰されただけに、次の作品にも期待が集まりそうだ。

- (34) a. 表彰されるだけあって、実に素晴らしい作品だ。
b. 表彰されただけあって、実に素晴らしい作品だ。

(34a)は表彰後にも使え、(34b)と同じ意味で用いられることが多い。「だけに」に比べると「だけあって」は、ダケの直前が「～る」でも「～た」でも文意への影響が少ないと言える。

4. 結論

相応のダケがどのような用法の際に容認されるのかについては、『XだけあってY』と言う形のXやYを替えて容認度の差を見ることで、XとYにある単語そのものの持つ意味が相応する場合に容認されることが示された。そのとき、副詞や形容詞や形容動詞、状態動詞といったものが文の容認度に影響を与えていること、中でも程度を表すものが文の容認に大きく関係し、その程度がつりあうものが容認され、その相応関係の強さと容認度が比例していることが明らかになった。そして、XとYの間には相応関係はもちろん、因果関係が成り立っていることも文の容認を左右する。

さらに、この文型の発話の意図は、聞き手に説得力のある根拠、つまり、一般常識や客観的事実を述べて、Yに強い感嘆の気持ちを持っているということ聞き手に納得、共感してもらおうことである。

また、「だけに」と「だけあって」の使い分けについては、「だけあって」の場合は言い切りの形「だけある」が最も強調するところの、言外のYを必要とするため、明確な相応関係が必要である。それ以外の場合に「だけに」が使われるため、「だけに」の方が多くのタイプで使うことができる。

また、「だけに」に比べると「だけあって」は、ダケの直前が「～る」でも「～た」でも文意への影響が少ないことも示すことができた。

参考文献

- 泉原省二(2007)『日本語類義表現使い分け辞典』研究社
工藤真由美(1995)『アスペクト・テンス体系とテキスト』ひつじ書房
国立国語研究所(1951)『現代語の助詞・助動詞』秀英出版
寺村秀夫(1991)「ダケ」『日本語のシンタクスと意味 第 巻』くろしお出版
仁田義雄ほか(2000)『日本語の文法1~4』岩波書店